

狩勝峠 鉄道写真展

狩勝信号場の詩

根室本線旧線の狩勝峠越を支え続けた鉄道員だけの集落

場所：サッポロファクトリー3条館1Fウォールギャラリー

期間：2015年4月14日（火）～5月31日（日）

時間：10:00～22:00

無休・入場無料



北海道の西から東へ列車で行くにはどうしても越さねばならぬ峠。
鉄道全盛時代この難所である峠の運行を支え続けた拠点があった。
なにも無い山の中に駅員、保線区員、工事関係者がその家族とともに住んでいた。
総勢100名を越えるこの峠の集落は狩勝峠のサミットでもあり、
列車同士の交換設備がある広い構内など当時の貴重な写真で振り返る。

出展者（敬称略）

大崎和男、川本紘義、齋藤晃、杉江弘、高井薫平、瀧脇収二、田辺幸男、堀越庸夫、松尾為男、三品勝暉、
村檜四郎、村松功

主催：狩勝高原エコトロッコ鉄道 協力：サッポロファクトリー

1966年7月4日 P. 田辺幸男